

**『糖尿病専門医研修ガイドブック 改訂第 10 版』
第 1 刷 正誤表**

このたびは上記書籍をご購入いただきまして誠にありがとうございます。
本書第 1 刷におきまして以下の誤りがございました。訂正させていただきますとともに、
謹んでお詫び申し上げます。

2026 年 10 月 15 日現在
診断と治療社 編集部

ページ	箇所	修正
261	図 1 わが国の経口血糖降下薬の歴史	<p>図 1 わが国の経口血糖降下薬の歴史</p>
319	図 30 GLP-1 受容体作動薬の作用時間と血糖改善効果メカニズム	<p>図 30 GLP-1 受容体作動薬の作用時間と血糖改善効果メカニズム</p> <p>【矢部大介：GLP-1 受容体作動薬の分類と作用機序、使用上の注意点、糖尿病 2017；60：562-564 より改変】</p>

ページ	箇所	誤	正
37	本文左段上から 20行目～	KATP チャンネルは、1 型スルホニル尿素受容体（sulfonylurea receptor 1：SUR1 〈 KCNJ11 によりコード）と Kir6.2 (ABCC8 によりコード）からなるヘテロ 8 量体から構成されている。	KATP チャンネルは、1 型スルホニル尿素受容体（sulfonylurea receptor 1：SUR1 〈 ABCC8 によりコード）と Kir6.2 (KCNJ11 によりコード）からなるヘテロ 8 量体から構成されている。

ページ	箇所	誤	正																								
126	本文右段下から 9行目～ (差し替え)	糖尿病患者では、空腹時グルカゴン値は健常者に比べ高い傾向であり、正常範囲であっても、血糖値に比べると高値であることが多い。特にOGTT時に差が顕著となる。OGTT時、健常者では血糖値の上昇に伴いグルカゴンは低下するが、2型糖尿病患者では上昇傾向を示すことが多い ⁷⁾ 。	健常者では、インスリンは0～30分で上昇する。膵β細胞の機能が正常な場合、膵α細胞の機能であるグルカゴン分泌は低下する。インスリンの初期分泌が低下する2型糖尿病では、膵β細胞による膵α細胞抑制が不十分なため、グルカゴンは低下せず、2型糖尿病の程度（インスリン分泌障害の程度）によるが、グルカゴンは0～30分にかけて、明らかに増加する人もいれば、ほぼ変わらず、抑制が認められないだけの人もいる ⁷⁾ 。																								
175	本文右段下から 11行目～	膵移植により血糖値が完全に正常化すると、 末期の糖尿病性腎症 も改善することが報告されている ²¹⁾ 。	膵移植により血糖値が完全に正常化すると、 糖尿病性腎症 も改善することが報告されている ²¹⁾ 。																								
288	本文右段下から 15行目～	アルドステロン拮抗薬であるエプレレノンは、高カリウム血症の誘発リスクから微量アルブミン尿またはタンパク尿を伴う糖尿病で禁忌である。	アルドステロン拮抗薬であるエプレレノンは、 高血圧に対する治療薬として用いる場合には 、高カリウム血症の誘発リスクから微量アルブミン尿またはタンパク尿を伴う糖尿病で禁忌である。																								
289	表11 糖尿病に関連したおもな禁忌薬	<table><tr><th colspan="3">表 11 糖尿病に関連したおもな禁忌薬</th></tr><tr><th>分類</th><th>薬剤</th><th>主たる影響や対象</th></tr><tr><td>抗精神病薬</td><td>オランザピン、クエアチピン</td><td>糖尿病、糖尿病の既往</td></tr><tr><td>切迫流・早産治療薬</td><td>リトドリン</td><td>重篤な糖尿病</td></tr><tr><td>アルドステロン拮抗薬</td><td>エプレレノン</td><td>微量アルブミン尿または尿蛋白を伴う糖尿病</td></tr><tr><td>エンドセリン受容体拮抗薬</td><td>ボセンタン</td><td>グリベンクラミド投与中の患者</td></tr><tr><td>サイアザイド系利尿薬</td><td>トリクロルメチアジドなど</td><td>重篤な糖尿病</td></tr><tr><td>月経困難症治療薬</td><td>ヤーズ®</td><td>糖尿病に起因する血管合併症</td></tr></table> <div>高血圧に対する治療薬として用いる場合には、高カリウム血症の誘発リスクから</div>		表 11 糖尿病に関連したおもな禁忌薬			分類	薬剤	主たる影響や対象	抗精神病薬	オランザピン、クエアチピン	糖尿病、糖尿病の既往	切迫流・早産治療薬	リトドリン	重篤な糖尿病	アルドステロン拮抗薬	エプレレノン	微量アルブミン尿または尿蛋白を伴う糖尿病	エンドセリン受容体拮抗薬	ボセンタン	グリベンクラミド投与中の患者	サイアザイド系利尿薬	トリクロルメチアジドなど	重篤な糖尿病	月経困難症治療薬	ヤーズ®	糖尿病に起因する血管合併症
表 11 糖尿病に関連したおもな禁忌薬																											
分類	薬剤	主たる影響や対象																									
抗精神病薬	オランザピン、クエアチピン	糖尿病、糖尿病の既往																									
切迫流・早産治療薬	リトドリン	重篤な糖尿病																									
アルドステロン拮抗薬	エプレレノン	微量アルブミン尿または尿蛋白を伴う糖尿病																									
エンドセリン受容体拮抗薬	ボセンタン	グリベンクラミド投与中の患者																									
サイアザイド系利尿薬	トリクロルメチアジドなど	重篤な糖尿病																									
月経困難症治療薬	ヤーズ®	糖尿病に起因する血管合併症																									